

平成 30 年 4 月実施—議会報告会・意見交換会まとめ

場 所：山北地区（平成30年4月13日）

総務環境常任 委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
<p>IC カード</p> <p>人口減少対策</p> <p>観 光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IC カードは全部使えるのか。 ・ 31 年春に IC カード使用可能とあるが、国府津駅を含め横浜駅まで使用可能となるのか、国府津駅ホームに IC カード読み取り装置を設置すれば解決するのではないか。 ・ 若い人は不便だと町を出ていくので何とかならないか。 ・ 毎月多くの方が亡くなっている。思い切った人口対策を行わないと人口は増えない。 ・ 町が豊かにならないと生活も豊かにならないし、人口も増えない。 ・ 企業誘致は難しい。 ・ 地域の高齢化が進み、これから町はどうなるのか不安である。 ・ 観光はトイレや登山道の整備に費用がかかるだけで、お金は入ってこないのが現状である。 ・ 泊る所がなければお金は落ちない。 ・ 丹沢湖は、昔は多くの観光客が来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイカエリア内でパスモやスイカも使える。エリアをまたいでの使用は出来ない。 ・ 31 年 3 月末に下曽我駅までの IC カード利用が可能となる。国府津駅ではエリアまたぎでの清算となり使用はできない。国府津駅以降の利用については IC 議連で今後も交渉していく。 ・ 入込客は増えているが、お金は使わなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会において調査・検討している。

	<p>今は減少しており、観光客の呼び寄せの努力が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山北の桜は老木になっているが、どのくらい持つのか分かっているのか。 ・箱根には多くの外国人観光客が来る。山北でも外国人、特にアジアの観光客誘致施策に尽力すべきではないか。 ・アウトドアスポーツのメッカとして、町の豊かな自然を活かした観光施策を考えるべきだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データは町にないと思う。山北駅周辺の桜を存続したい人は多数いるので、多くの声を上げることが必要と思う。 ・観光資源として有効と考えているので、良い方向で進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・官民の連携による対応が必要である。
鳥獣害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市間の茶畑は猪が荒らす。猿は悪さをするが、猟友会は撃たない。 ・鳥獣被害対策として、任意団体で耕作放棄地に紅葉を植え、春は桜、秋は紅葉を楽しめるようにして観光名所にしたらどうか。 ・山北山に鹿、猿が出没し、農作物を植えても全滅する。狸も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一頭に付き3、000円の補助金を出して捕獲数が200頭から1000頭に増えた。 	
町の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・町の活性化を行政主導で行う意見があるが、町は器を作り、それを使うことは民間の仕事である。民間が働きやすくすることが、行政の仕事ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大切な意見として伺う。 	
循環バス	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスを、洒水の滝祭りの際の交 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の循環バスの運行時間を変えるの 	<ul style="list-style-type: none"> ・所管の委員会で検討している。

山北藤野線	<p>通手段として増便することはできないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山北藤野線開通のメリットは。 	<p>は難しい課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山北町と道志村の議員で、道路についての議論を始めた。 ・回遊性ができることで、観光や工業団地への活性化につながる。山の上を通す道よりも、トンネルで抜けるルートを議員間連携で模索している。まず、町の計画に載せることが大事だと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行き止まりの三保地域の道路が、道志村などへ抜けることが出来れば、観光としての回遊性が生まれる。災害時には迂回路として利用出来るなど多くのメリットが考えられる。
秦野峠林道	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野峠林道通行実現への手順は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山北と松田の議員で議員連盟をつくり、道路利用について活動している。 ・観光資源としては議会として有効と考えているので、良い方向で進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時や災害時に利用できることで、早急な対応が可能になる。
交通情報	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート IC ができるメリットは何か。 ・アサヒビールが出来て、宮地の信号が渋滞するようになり、脇道を通る車が増えた。事故が起きないか不安であったが、グリーンベルトが効果的である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンベルトで安全強化をしている。
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館はどうするのか。町民アンケートを取るのか。体育館を建てることにしても駐車場がないので難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・壊すがその後はまだ決まっていない。 	

<p>耕作放棄地</p>	<p>と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康福祉センター西側の外壁に時計を付けるとイベント時に便利だ。 農作物が育たないので、耕作意欲が湧かず、結果的に耕作放棄地になってしまう。急傾斜地の農地に手が届かないため荒れる。そのことで土砂崩れ等が懸念される。 ハザードマップは作らないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民ポスト等で町への要望事項としてほしい。 土地権利問題もあり、なかなか難しく進まないようだが、法的措置等の対策もされてきている。また、手入れ等を近隣の仲間を集い、植樹や草刈りをしながら管理する方法も一部ある。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当課に伝える。
<p>空き家対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地同様、荒れ放題であり、隣近所に住人がいない。 住みにくい環境の対策推進を。 		<ul style="list-style-type: none"> 山北町防災マップは H26 年 4 月に、土砂災害ハザードマップは H28 年 4 月に全戸配布されている。
<p>マダニ・ヤマビル</p>	<ul style="list-style-type: none"> 山北ではマダニ・ヤマビルの被害は聞かない。 		

福祉教育常任 委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
<p>山北学園</p> <p>子育て</p> <p>定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社山北学園を開校したが、学校法人でなくてよいのか。 ・子育て支援の充実施策検討は、実際に子育てしている保護者に、参画してもらうべきではないか。 ・町内にはユニークな活動をしている若者が増えてきている。若者が活動しやすく魅力的な仕事や施策を想定し、定住に結びつけたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県は新規の学校法人を認めていないため、教育特区の許可を受け開校した。将来的には学校法人になる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議には、子育て中の方にも参画頂いている。 ・定住対策については、町に積極的に提言していく。

あり方検討委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
議員定数	<ul style="list-style-type: none"> ・単に人数を減らして経費を抑えるだけで良いのか。また、人口が減少しているから議員を減らして良いのか。 ・面積的には適正人数であると考える。 ・議員PRが足りない。人口が減少しても仕事量は同じなので、議員定数を減らさなくても良い。 ・若い人に出てもらうには暮らしができる報酬を出さないといけない。 ・町民にしっかりと議員のあり方等のデータを示すべきである。 ・議員定数の削減と若返りとは別のことであり、議員報酬を考えると逆行している。 ・日本の市町村で一番面積の大きいのは、岐阜県高山市、人口は山北の約10倍で、議員は24人である。それから考えると山北町は3人でもできるが様々な事を考え7人程度が適当と思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・あり方検討委員会で検討中である。

- | | | | |
|--|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・町内に利害を共有する地区がいくつあるかカウントし、それを基準に議員定数を考えるべきではないか。世代、地区、性別等様々な要素を検討し、各代表から一人以上選出し、等しく意見が反映できるようにすべきである。人口対比で考えるのは適切でない。・定数を2人減らし、その2人分の報酬の何割かを上乘せしたらどうか。・町域の広さは削減しない理由にならない。SNS等を活用すれば良い。・ぎりぎりの人数で活動するより、ゆとりをもってやって欲しい。減らさなくても良い。・県議も合区で1人になる。いろいろな意見を出すことは大事だが1～2人減らすべき。・人口と定数は必ずしも結び付かないが、検討材料の一つにはなる。・住民の声がしっかりと届く人員配置を。・委員会運営は少人数では突っ込んだ議論ができないのではないか。・人口も少なくなり、少子高齢化の町であれば定数削減もありでは。・将来の山北町のビジョンが見えない。そこが前提であり、議員定数の問題はそこから議論を進めて良いのではないか。 | | |
|--|--|--|--|

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員定数の議論を議員主体でやるのが良いのか。第三者機関を入れて判断したらどうか。 ・ 現状維持、削減にしても町民にしっかりと説明する根拠が必要。 ・ 選挙になれば町民は楽しみ。 ・ なり手不足も含めて休日や夜間議会などの取り組みが必要では。 		
議員報酬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の月給ではなく、出席に応じた日払いにすべきではないか。 		
議会インターネット中継等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中継はできなくても議会の様子を録画し、住民が見られるようにすれば、議員の質は向上する。行うべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット中継について検討したが、費用対効果や事業の継続性を考えて、今回は見送りとなった。ご意見としてあげさせていただく。 	
傍聴規則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規則の見直しとは何か。 ・ 傍聴者数は。 ・ 子ども連れの傍聴は可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議場内へのつえの持ち込み禁止を外した。 ・ 一般質問がある時に10人位である。決算、予算特別委員会を設置しているので、傍聴してほしい。 ・ 保護者の責任において傍聴規則を守れば可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会傍聴規則には【児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることが出来ない。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りでない。】と示されているため、議長の許可が必要である。

その他	参加者意見	当日の答弁	調査結果
<p>特産品開発</p> <p>議員の広域連携</p> <p>自治会関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雑穀などをみんなで作れば特産品になる。 ・ 寒い地域には漆を、暖かい地域にはオリーブを植えたらどうか。 漆は紅葉がきれいなので町の特産品になる。 ・ アマランサスの健康食品を町の特産品にしてはどうか ・ 議員は上郡5町や他市町の議員との交流や連携はあるのか。 ・ 自治会に入る人も少なくなり、抜ける人もいるため、自治会の世帯数が減少している。 ・ 仕事量の多さが負担になり、自治会役員の成り手がいない。 ・ 若い人は自治会入会を断る傾向あり、説得もできない。 ・ 例大祭等の大きな行事では、自治会役員になると4日間も会社を休まなくてはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ IC 議連、秦野峠林道の開通を求める議連、道志村議員との交流、有志議員による研究会、議長会主催による各種研修会等活発に活動している。 	

車座集会	<ul style="list-style-type: none">・ 役員は順番制とし、平成45年まで決まっている。・ 自治会より家族が大事。・ 今までよりも多くの意見が出ている。		
------	---	--	--